

# 保護者の皆様へ

令和3年度の学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。保護者の皆様からの温かな声や協力が、学校の取組をさらに前に進める力になりました。今後も、学校関係者による評価を参考に、子どもたちのために、より一層、学校と家庭、地域が一体となった取組を進めてまいります。今年度の学校評価へのご協力、ありがとうございました。  
 令和4年2月 北広島市立大曲東小学校 校長 神守一志

## 令和3年度 大曲東小学校・学校評価結果

★の「ねばり強く」と「温かい学校」は今年度の重点、網掛けは小中一貫 ④そう思う ③ややそう思う ②あまり思わない ①全く思わない 評価は4段階で、年2回評価 数値は% (小数第1位は四捨五入)

分野	項目	児童アンケート		保護者アンケート		教職員の自己評価		●改善の方策	学校関係者評価 (学校運営協議会)		意見や質問
		①6月	②11月	①7月	②11月	①7月	②12月		①9月	②2月	
教育課程	<b>1 ★あきらめずに挑戦する力の育成(小中一貫・ねばり強く)</b> ○児童「夢や目標をもち、その実現に向け、あきらめないで努力している」 □保護者「子どもががんばろうとしていることを応援している」 ◆教職員『きたひろ夢ノート』を活用するなど、夢や目標に向かって、あきらめないで最後まで取り組むように声かけをしたり、自己決定と振り返りを大切にしている」	④65 ③30 ②3 ①2	④69 ③26 ②3 ①2	④73 ③26 ②1 ①0	④77 ③22 ②1 ①0	④20 ③63 ②13 ①4	④50 ③42 ②4 ①4	児童の「自己決定」と「振り返り」など、児童の意欲を支えるかかわりを大切にしている。	B	A	○目標掲げることによって意欲が向上し、夢をもつことにつながる。夢ノートの活用は大事。 ○①に回答した児童と教職員がいるのが気になる。 ○「夢」がプレッシャーになる子もいる。 ○学校便りの「家庭の取組」の掲載は参考になる。
	<b>2 主体的に学ぶ力の育成(大曲授業スタンダード)(小中一貫・かしこく)</b> ○児童「授業の最後に学びを振り返っており、家庭学習を毎日取り組んでいる」 □保護者「家庭学習の習慣化を目指して環境づくりに努めている」 ◆教職員「1単位時間のねらいを明確に、思考過程を可視化、自分の考えを他者と共有、振り返り」に取り組んでいる。	④65 ③26 ②8 ①1	④68 ③23 ②8 ①1	④43 ③51 ②6 ①0	④49 ③43 ②7 ①1	④20 ③50 ②26 ①4	④46 ③36 ②10 ①8	振り返りまでの授業展開をそろえとともに、引き続き、家庭と連携し、学習習慣の確立に努める。	B	A	○家庭学習の取り組み方が、押しつけにならないように、何が大事なのかを確認する必要がある。 ○学ぶことの楽しさ、理解できたことの嬉しさを感じることが大切。 ○学校便りの「家庭の取組」の掲載は参考になる。
生徒指導	<b>3 大曲スタンダード(返事、挨拶、立腰、言葉)(小中一貫・たたく)</b> ○児童「進んで挨拶、返事、立腰、正しい言葉遣いに心がけていて、できている」(4つ) □保護者「家庭で、挨拶や対話を大切にしている」 ◆教職員「挨拶、返事、立腰、言葉を常に子どもが意識し、取り組めるように促している」	④59 ③31 ②9 ①1	④61 ③31 ②7 ①1	④74 ③24 ②2 ①0	④74 ③25 ②1 ①0	④67 ③33 ②0 ①0	④60 ③40 ②0 ①0	学年ごとの取組や児童会が主体となった取組など、引き続き、その徹底を図る。	B	B	○挨拶の意識が高まっている。持続が大事。 ○子どもたちの挨拶が良くなっている。地域の方も応援を進めている。今後の期待を込めて、B。 ○大人が手本を示すことが大切。 ○学校便りの「家庭の取組」の掲載は参考になる。
	<b>4 規則正しい生活(小中一貫・たくましく)</b> ○児童「早寝・早起き・朝ご飯、学校や家庭、地域の約束やルールを守っている」 □保護者「子どもが自ら生活リズムを整え、約束やルールを守るよう促している」 ◆教職員「規則正しい生活、約束やルールを守った生活ができるよう促している」	④58 ③32 ②7 ①3	④64 ③31 ②5 ①0	④57 ③41 ②2 ①0	④59 ③40 ②1 ①0	④63 ③37 ②0 ①0	④76 ③20 ②0 ①0	家庭と連携した生活習慣の確立と、家庭・地域と連携した校外生活のルールやマナーの徹底に努める。	B	A	○コロナ禍で体を動かすことが低下している。 ○外遊びは基礎体力の健全な成長につながる。 ○ルールを守らせることが目的ではなく、なぜ、こうなる事が大事なのかを理解することができるよう大人が努力すべきと思う。 ○CSと連携し、保護者への意識啓発が必要。 ○学校便りの「家庭の取組」の掲載は参考になる。
今年度の学校の重点	<b>5 ★温かい学校づくり</b> ○児童「学級みんなに、思いやりの気持ちをもって、やさしく接しているお、いじめのない学級となっている」 □保護者「家庭で、いじめは絶対許されなことをお父さんと話し合っている」 ◆教職員「いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努め、学級全体への配慮に心がけるとともに、職員間で折り合いを付けて円滑に業務を進める協働の取組など、温かい学校づくりに心がけている」	④64 ③28 ②6 ①3	④66 ③28 ②4 ①2	④80 ③18 ②2 ①0	④81 ③19 ②0 ①0	④58 ③29 ②8 ①5	④66 ③24 ②10 ①0	引き続き、「挨拶と思いやり、ありがとう」を大切に温かい学校づくりを児童、教職員が一体となって取り組む。	B	A	○①と②に回答した児童がいるのが気になる。 ○SNSでの誹謗中傷を耳にする事が多いので、家庭との連携を含め、徹底していくべき。 ○しっかり子どもと向き合い、話し合うことができている家庭もあると思う。そんな家庭の子どもにどう接していくか、大人が考えていかなければならないと思う。 ○学校便りの「家庭の取組」の掲載は参考になる。
	<b>6 働き方改革</b> ◆教職員「変化を柔軟に受け入れ、優先順位と軽重を付けて効率的に業務を行うなど、みんなで考え、みんなで取り組む働き方改革に、積極的に取り組んでいる」					④29 ③54 ②17 ①0	④35 ③50 ②15 ①0	引き続き、教育活動の質を下げずに、効率的な業務改善に努める。	B	B	○引き続き、教職員の働き方改革は積極的に進めてほしいので、今後の期待を込めて、B。
今年度の学校の重点	<b>7 ICTの活用</b> ◆教職員「実物投影机(書画カメラ)やデジタル教科書、タブレット端末など、ICTを積極的・効果的に使っている」					④50 ③33 ②17 ①0	④75 ③8 ②17 ①0	次年度から、タブレット端末が全学年に配備されることから、その有効活用に努める。	B	A	○授業で活用することで、児童の考える力や勉強の取組が変わってきているように思う。
	<b>8 4つの聞く力(校内研究)</b> ○児童「先生や友達の話をしっかり聞くことができる」 ◆教職員「4つの聞く力」を意識して指導を行っている。	④75 ③21 ②3 ①1	④73 ③22 ②5 ①0			④25 ③42 ②33 ①0	④38 ③50 ②12 ①0	校内研究は、次年度から、中学校区として「授業スタンダード」の研究に統一していく。	B	A	○校内研究の成果は良いが、全般的に、人の目を見て話をし、話している人の顔を見ることがあまり意識されていないように思う。学校と家庭の双方で取り組む必要がある。

**まとめ**  
 1 児童アンケートの「かしこく」は、2つに分けて実施、「そう思う」の④が2の「振り返りを行っている」59%、「家庭学習に毎日取り組んでいる」74%で、その平均が68% (3ポイントアップ)。  
 2 児童アンケートの「たたく」は、4つに分けて実施、「そう思う」の④が3の「挨拶」76%、「返事」63%、「立腰」41%、「言葉遣い」63%で、その平均が61% (2ポイントアップ)。  
 3 保護者アンケートと教職員の自己評価の「そう思う」は、ほとんどがアップ。保護者から、「先生方は愛情をもって接してくれている」という声や家庭での取組事例が多数寄せられるなど、協力いただいた。また、教職員からは「担任も子どもも振り返りを意識して授業にのぞくようになった」とあるように授業改善が進んだ。  
 4 学校関係者から、「学校便りの家庭の取組の掲載は参考になる」「CSと連携した保護者の意識啓発が必要」「目を見て話を聞くことなど、学校、家庭の双方で取り組む」など、学校と家庭、地域が同じ方向で、一体的な取組を進めるための貴重なご意見をいただいた。  
 ☆成果→「挨拶」「家庭学習を毎日」の心がけの数値が高くなった。また、6年生から「進んで挨拶できるようになった」「温かい学校になってきた」などの声が聞かれている。  
 ★課題→引き続き、小中一貫して取り組んでいる「大曲スタンダード」「授業スタンダード」と、本校独自の「温かい学校」の取組を進め、家庭や地域と一体となった取組を大曲プロジェクトで検討し、推進していく。